足羽川ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場第1回幹事会(H22.12.10)

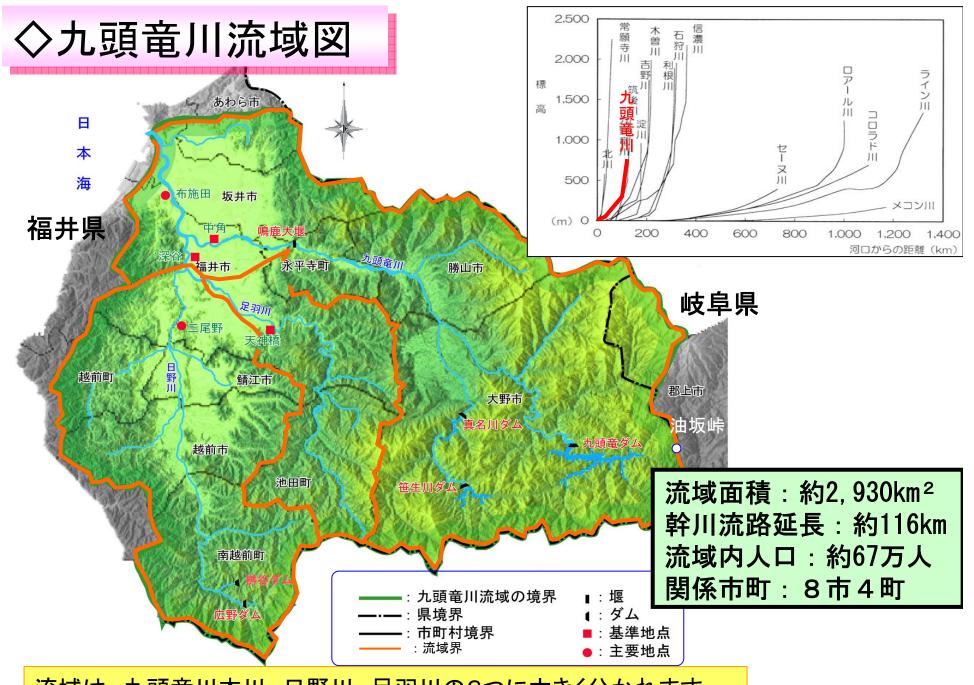
資料-5

経緯及び概要

■流域及び河川の概要

- (1)流域の地形・地質・土地利用等の状況
- (2)治水事業の沿革
- (3)現状と課題
- (4)現行の治水計画





流域は、九頭竜川本川、日野川、足羽川の3つに大きく分かれます。

◇福井平野の成り立ち

福井平野は、縄文海進後に形成された低平地です。

洪積世後期(約6千年前)

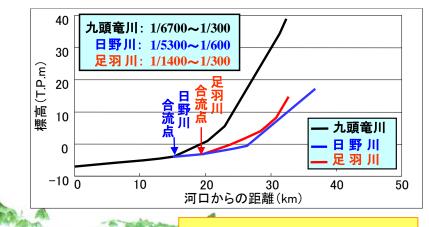


沖積世後期 🛑



地形分類(江戸期以前)

- 水面、後背湿地、天井川
- 三角州、砂州、砂嘴、砂丘、 自然堤防、微高地、氾濫原
- 台地、段丘、扇状地、緩扇状地、谷底平野

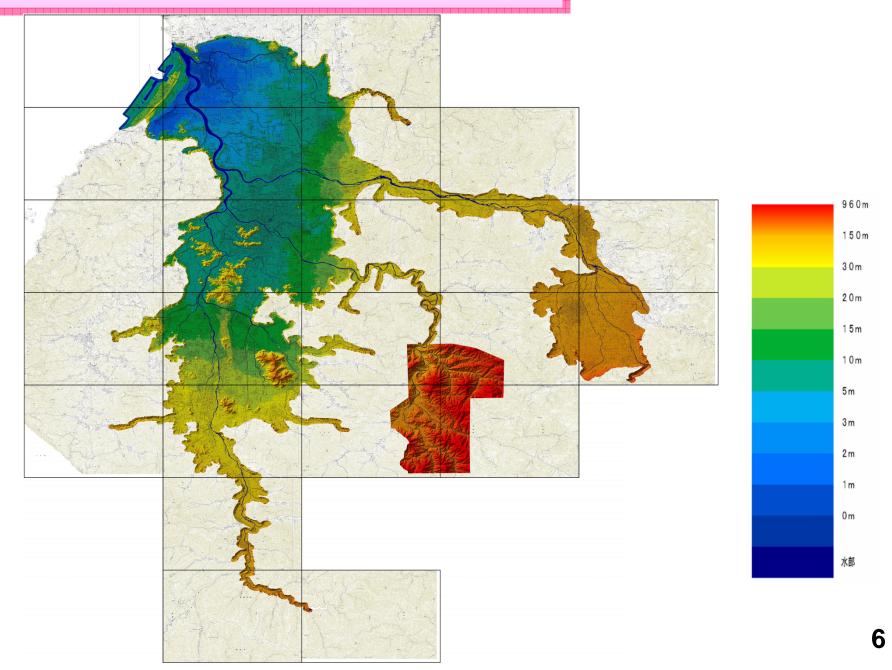


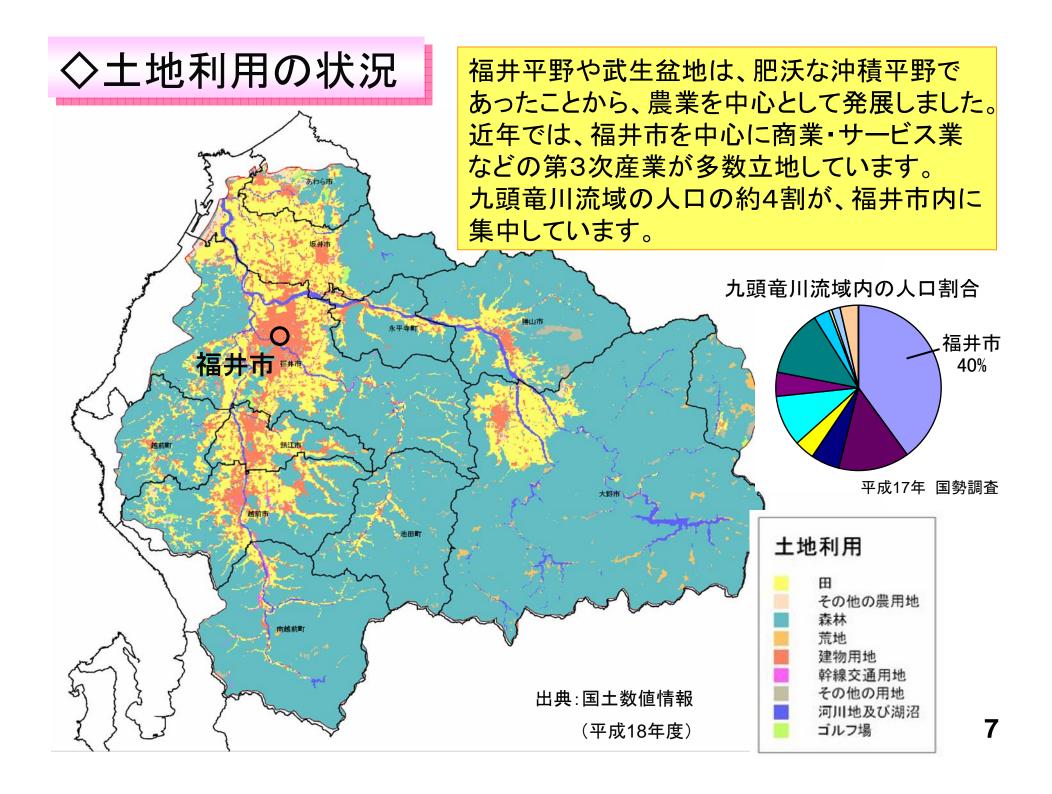
九頭竜川、日野川 の下流部は、川の 勾配も緩くなってい ます。

水面、後青湿地、天井川
三角州、砂州、砂嘴、砂丘、自然堤防、微高地、氾濫原
台地、段丘、扇状地、緩屬状地、谷底平野

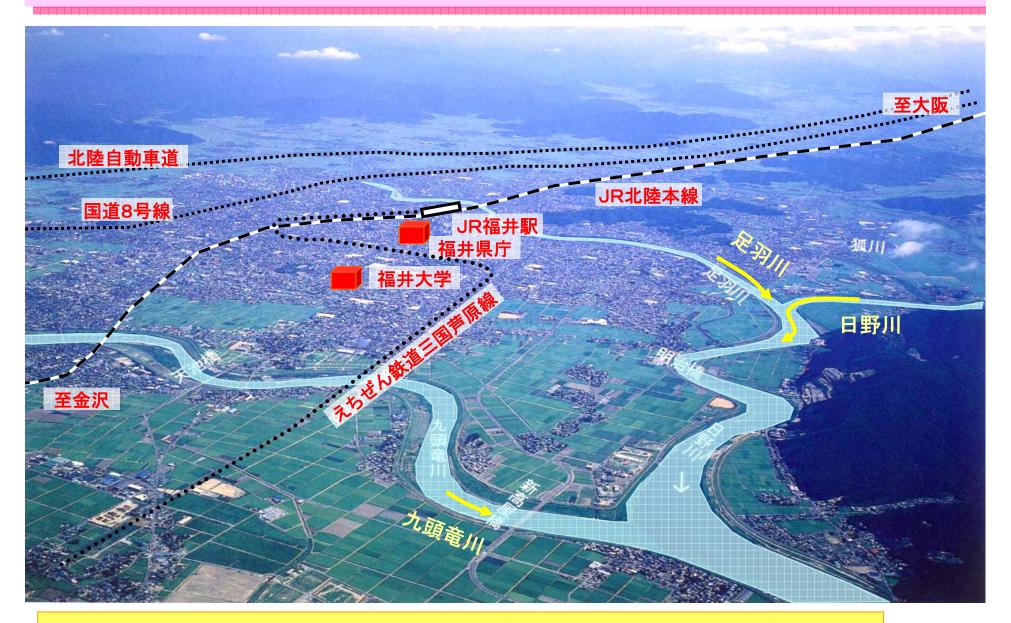
出典:九頭竜川水系河川整備計画

◇九頭竜川流域の基盤標高地図





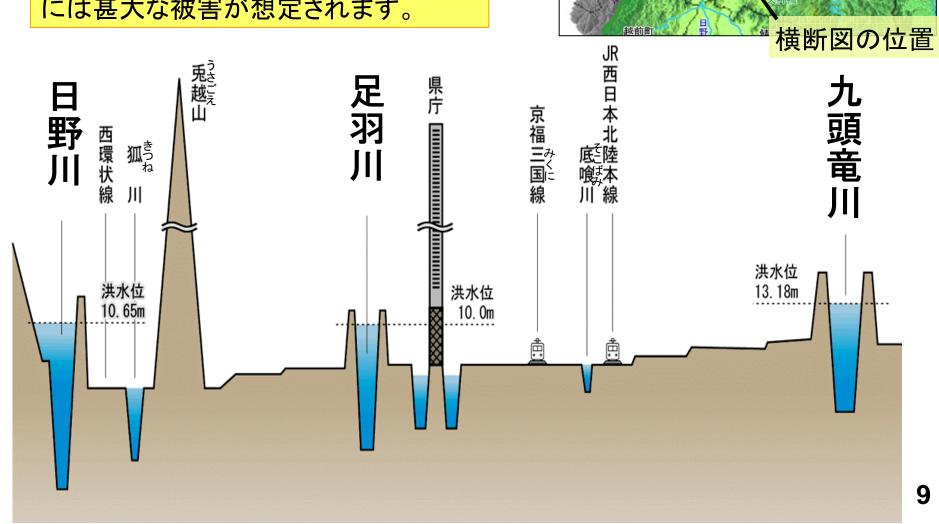
◇九頭竜川、日野川、足羽川に囲まれた福井市街地



三川に囲まれた地域には、人口や資産が集中する福井市街地があります。

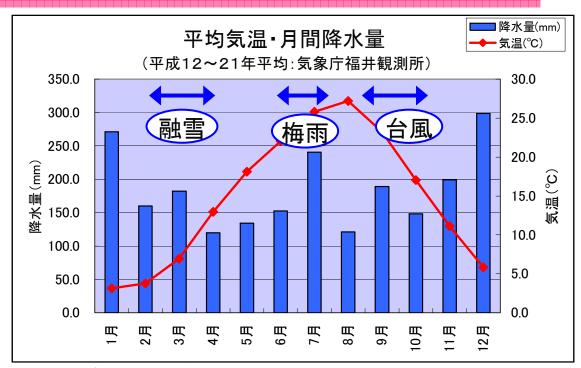
◇福井市街地の横断図

沖積平野に形成された福井市街地は、 九頭竜川、日野川、足羽川の洪水時の 河川水位より低い位置にあり、氾濫時 には甚大な被害が想定されます。



布施田 坂井市

◇気候と年間降水量の分布

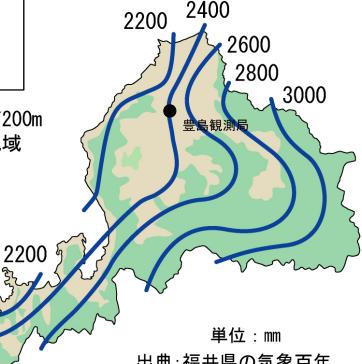


出典:気象庁HPより集計

福井県の平均年間降水量は、 平野部で 2,000~2,400mm、 山間部で 2,600~3,000mmと なっています。(統計期間:1961~1990)

※ 全国平均: 1,718mm (統計期間:1971~2000) 流域は、日本海型気候の 多雨多雪地帯に属します。

年間降雨量の分布 (統計期間:1979~1990)



印は標高200m

以上の地域

出典:福井県の気象百年

10

◇流域の降雨の特徴

九頭竜川、日野川、足羽川のそれぞれの流域で降雨が多くなるような様々な降雨パターンが発生しています。

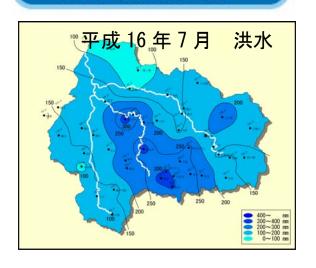
本川(九頭竜川)型

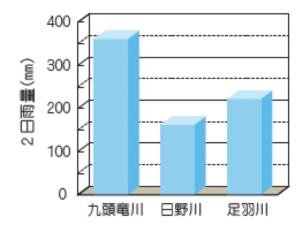


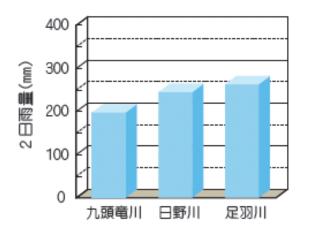
支川(日野川)型

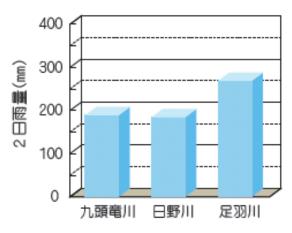


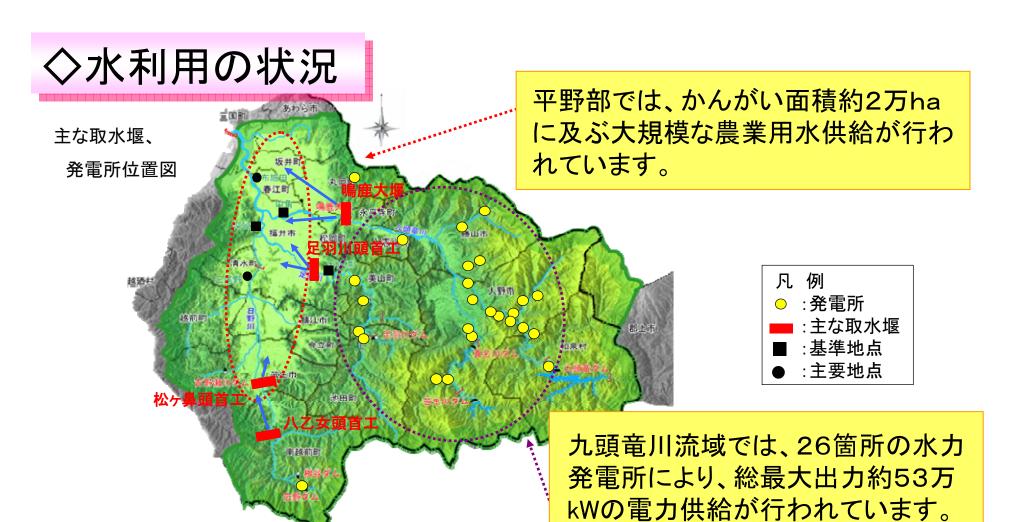
支川 (足羽川) 型











水利権の現状

〇九頭竜川水系の現況水利用状況(国土交通省、福井県管理区間) H22.4.月 現在

水利用は発電 と農業用水が ほとんどを占 めています。

		上水道用水	工業用水	潅漑用水 (許 可)	発電用水	雑用水	潅漑用水 (慣 行)
件	数	4	4	25	26	5	6
	利権量 m ³ /s)	2.080	1.339	96.074	772.300	0.331	潅漑面積(ha) 304.99

◇足羽川頭首工のかんがい区域



◇自然環境の状況

多様な河川環境には、多くの生物 が生息・生育しています。

> 鳥類が水面及び高水敷を 休息・採餌地として利用

アラレガコの産卵場

4.九頭竜川下流域



オオヒシクイ



アラレガコの生息地 (天然記念物地域指定範囲)

九頭竜中流域

足羽川流域

九頭竜上流域

タコノアシ



アジメドジョウ

日野川流域 🖺

越廼村



- : 九頭竜川流域の境界
-]:直轄管理区間 : 県境界
- : 市町村境界
- 1: 54
- (: ダム (建設中)
- 主要地点

◇河川の利用

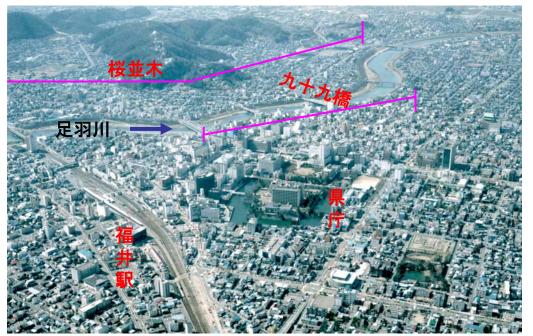
河川空間は、市民の憩いの場となっています。







特に、福井市中心部を流れる足羽川の九十九橋付近は、 毎年「ふくい春まつり」の会場となっており、堤防が 桜並木となっていることから多くの市民らが訪れます。



足羽川での 花火大会 (木田橋上流)



足羽川での 河川敷利用 (九十九橋付近)



■.流域及び河川の概要

- (1)流域の地形・地質・土地利用等の状況
- (2)治水事業の沿革
- (3)現状と課題
- (4)現行の治水計画

◇主な洪水被害状況写真



昭和28年9月洪水(台風13号) 福井市花月町付近の浸水状況



昭和56年7月洪水 (梅雨前線) 洗掘により傾いた高屋橋(県道福井三国線) の橋脚



昭和34年9月洪水(伊勢湾台風)福井市城の橋通りの浸水状況

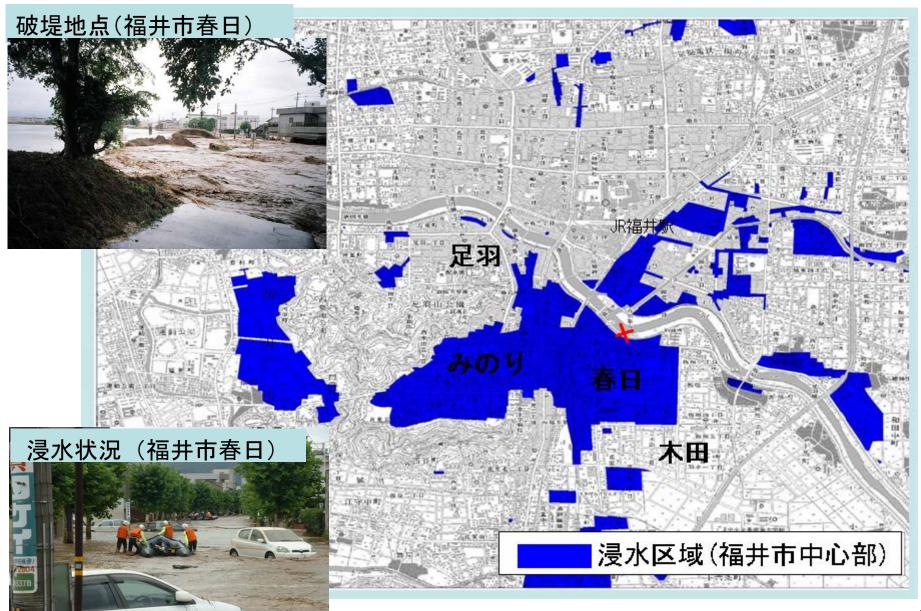


平成16年7月洪水(福井豪雨) 足羽川の堤防が決壊(福井市春日)

◇ H.16.7 福井豪雨時の被災状況



◇福井市中心部の浸水状況(H.16.7 福井豪雨)



ダムを含めた治水対策

◇主な洪水被害と治水計画の変遷

河道整備

を中

心とした治水対策

出典:九頭竜川水系河川整備基本方針

M31 直轄改修事業として着手 九頭竜川第一期改修計画(~M44)

計画高水流量:

中角 3,058m³/s 深谷 1,667m³/s 前波 695m³/s

M43 九頭竜川第二期改修計画(~T13)

計画高水流量:

中角 3,058m³/s 深谷 1,667m³/s 前波 695m³/s

S28.9 台風13号

流量:中角 2,800m³/s 深谷 3,200m³/s 前波 1,400m³/s

床下/床上 : 8,110戸/9,517戸

浸水面積 : 不明 死者·行方不明者: 13人

S30 九頭竜川再改修計画

計画高水流量:

中角 3,058m³/s 深谷 2,830m³/s, 前波 890m³/s

S34.8 前線·台風7号

流量:中角 3,300m³/s 深谷 2,300m³/s 前波 1,100m³/s

床下/床上: 7,512戸/5,584戸

浸水面積 : 不明 死者·行方不明者: 2人

\$34.9 伊勢湾台風(台風15号)

流量:中角 4,900m³/s 深谷 1,800m³/s 前波 900m³/s

床下/床上 : 5,033戸/1,517戸

浸水面積 : 不明 死者·行方不明者: 34人

S35 九頭竜川改修変更計画

・九頭竜ダム(S43完成)による洪水調 節施設を計画

計画高水流量:

中角 3,800m³/s(5,300m³/s)

深谷 2,830m³/s 前波 890m³/s

\$36.9 第二室戸台風(台風18号)

流量:中角 5,900m³/s 深谷 1,900m³/s 前波 1.200m³/s

床下/床上 : 2,621戸/1,740戸

浸水面積 : 3, 264ha

\$40.9 奥越豪雨•台風24号

流量: (右: 奥越豪雨、左: 台風24号) 中角 6, 200m³/s, 2, 700m³/s 深谷 400m³/s, 2, 500m³/s 前波 200m³/s, 1, 300m³/s 床下/床上 : 7, 504戸/3, 467戸

浸水面積 : 14,630ha 死者・行方不明者:25人

S41.7 工事実施基本計画策定

S43.2 工事実施基本計画改定(第1回)

- ・基準地点中角で計画規模1/80
- ・真名川ダム (S54完成) などによる洪 水調節施設を計画
- ・足羽川上流の洪水調節施設を計画

計画高水流量:

中角 3,800m³/s(6,400m³/s) 深谷 2,830m³/s(3,200m³/s) 前波 700m³/s(1,100m³/s)

S50.8 台風6号

流量:中角 4,000m³/s 深谷 2,300m³/s 前波 1,400m³/s

床下/床上 : 166戸/6戸 浸水面積 : 19ha

S54.4 工事実施基本計画改定 (第2回)

・基準地点中角で計画規模1/150

計画高水流量:

ムを含めた治水対

中角 5,500m³/s(8,600m³/s) 深谷 4,800m³/s(5,400m³/s) 前波 1,800m³/s(2,600m³/s)

H16.7 福井豪雨

流量:中角 3,500m³/s 深谷 3,400m³/s 天神橋 2,400m³/s

床下/床上 : 10,321戸/3,314戸

浸水面積 : 260ha 死者・行方不明者: 5人

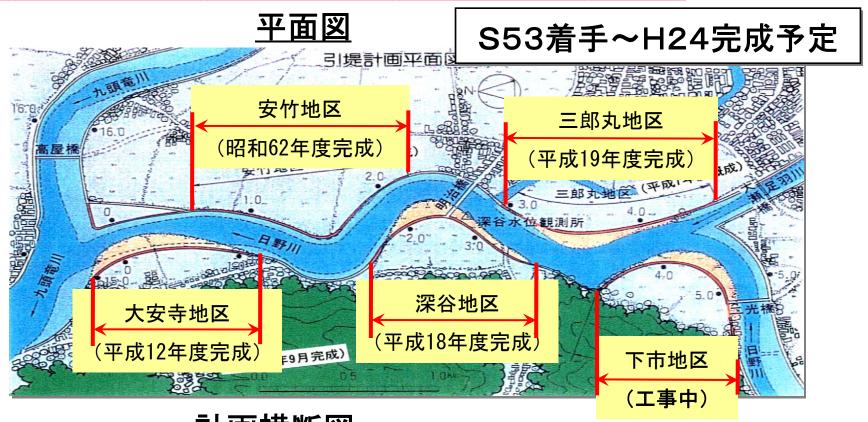
※()内は基本高水のピーク流量

計画を上回る大洪水が度々発生し、その都度、流量改定を行いました。

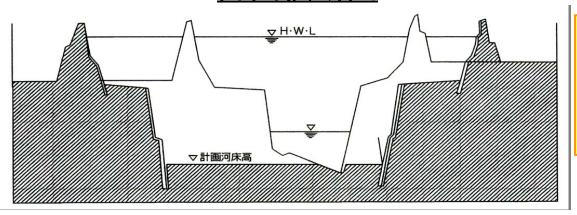
◇主な治水事業(ダムの建設)



◇主な治水事業(日野川五大引堤事業)

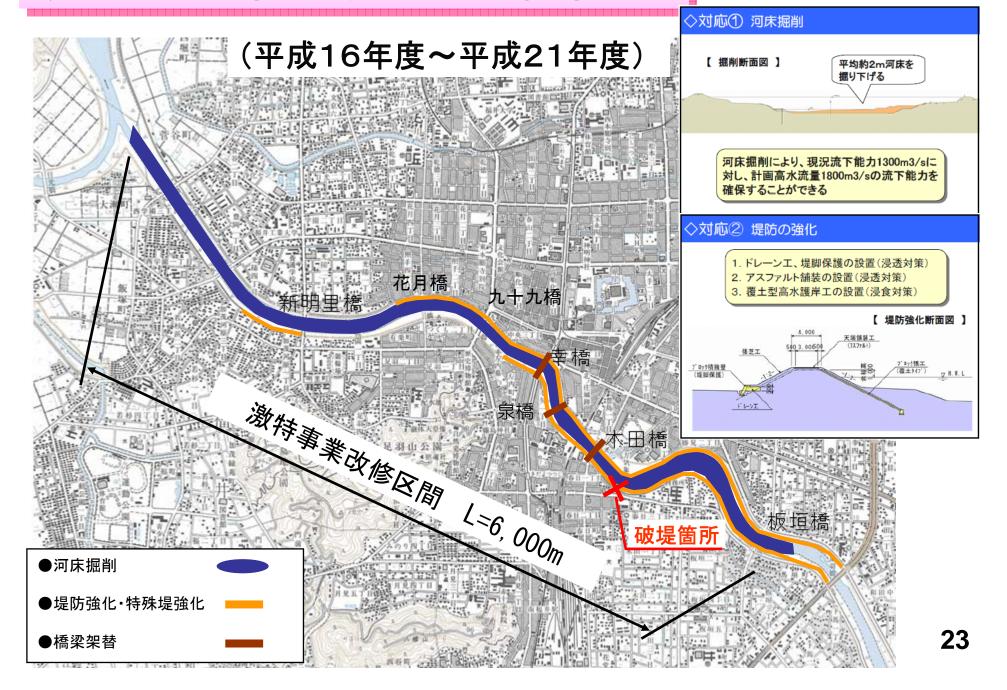


計画横断図

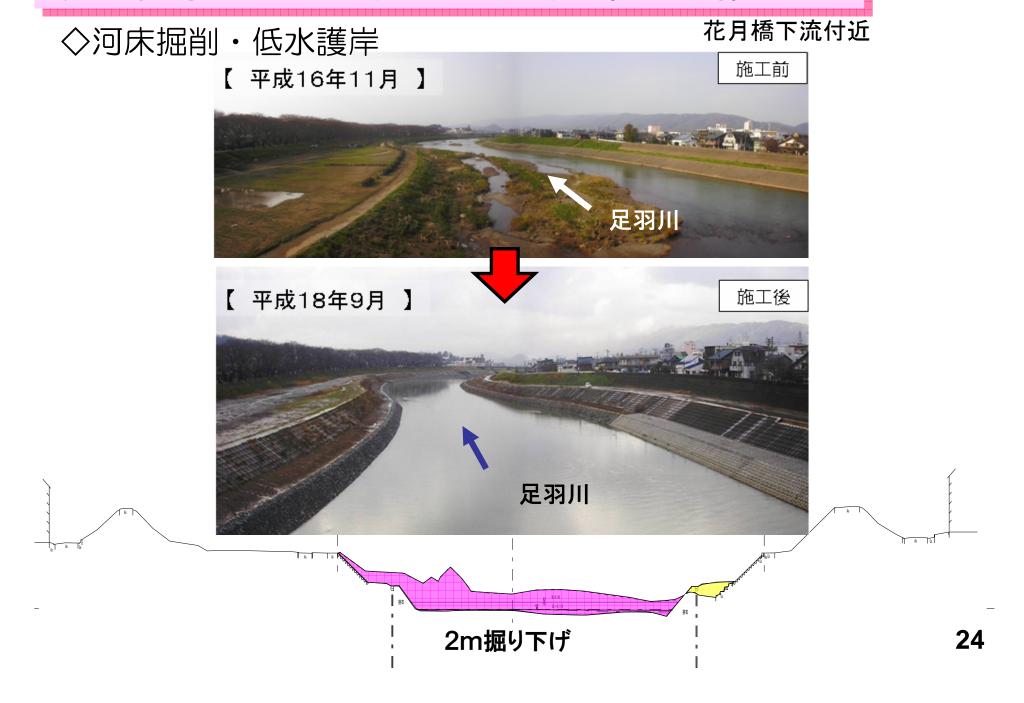


家屋等の移転は生じな かったものの、着手から 30余年を経過し、工事は 続いています。

◇主な治水事業(足羽川激特事業)



◇激特事業による足羽川下流部の整備状況



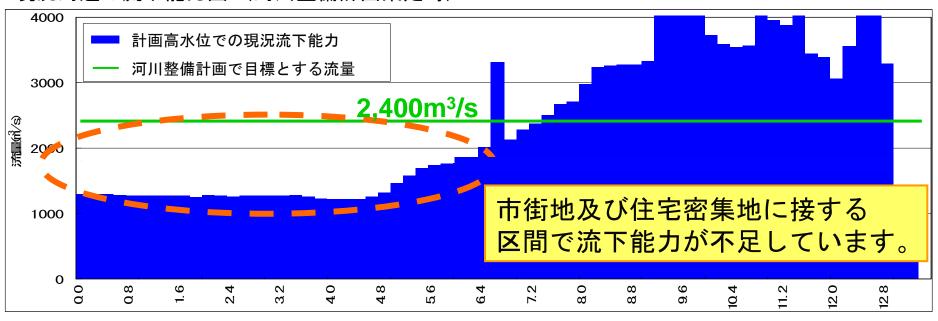
■流域及び河川の概要

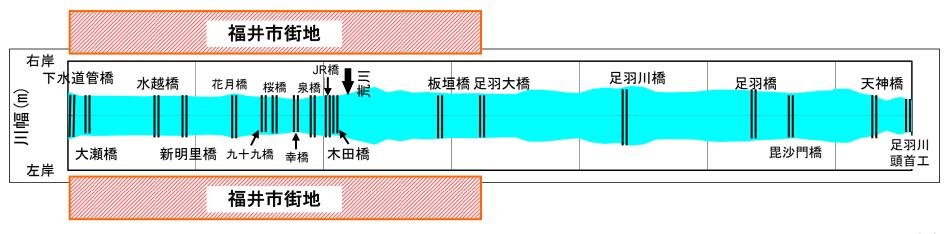
- (1)流域の地形・地質・土地利用等の状況
- (2)治水事業の沿革
- (3)現状と課題
- (4)現行の治水計画

◇足羽川の課題

目標:戦後最大規模の洪水(平成16年7月福井豪雨)

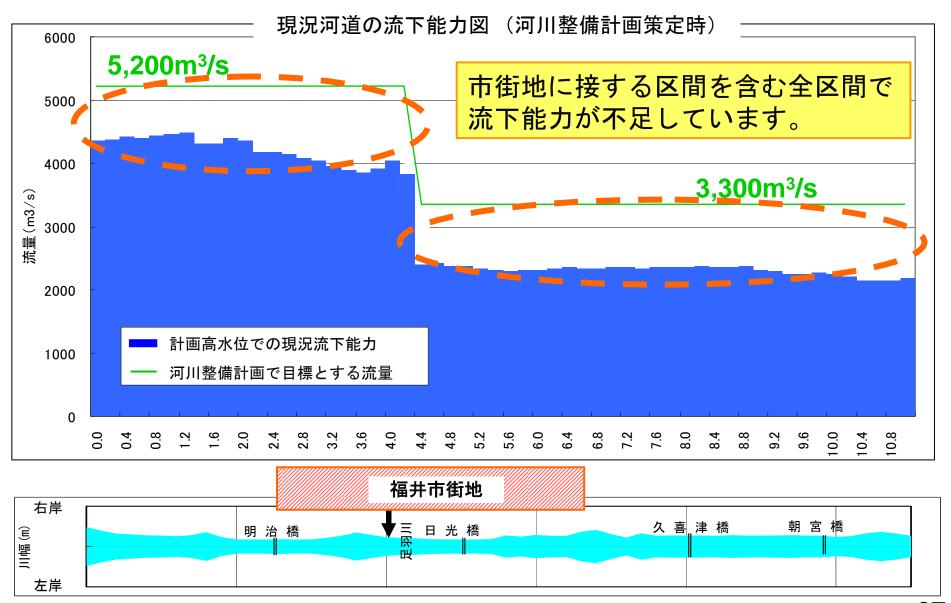
現況河道の流下能力図(河川整備計画策定時)





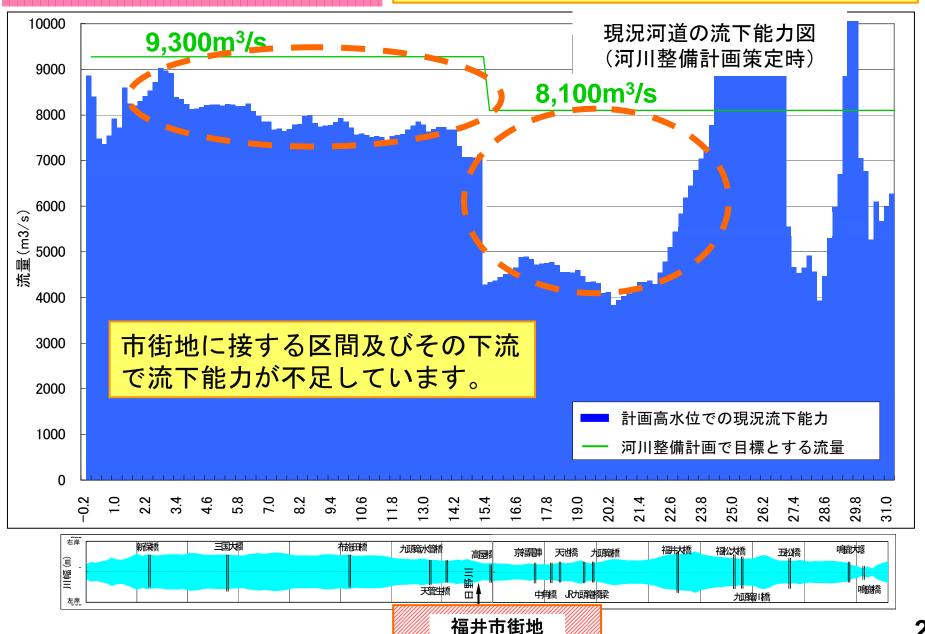
◇日野川の課題

目標:戦後最大規模の洪水(昭和28年9月型)



◇九頭竜川の課題

目標:戦後最大規模の洪水(昭和36年9月型)



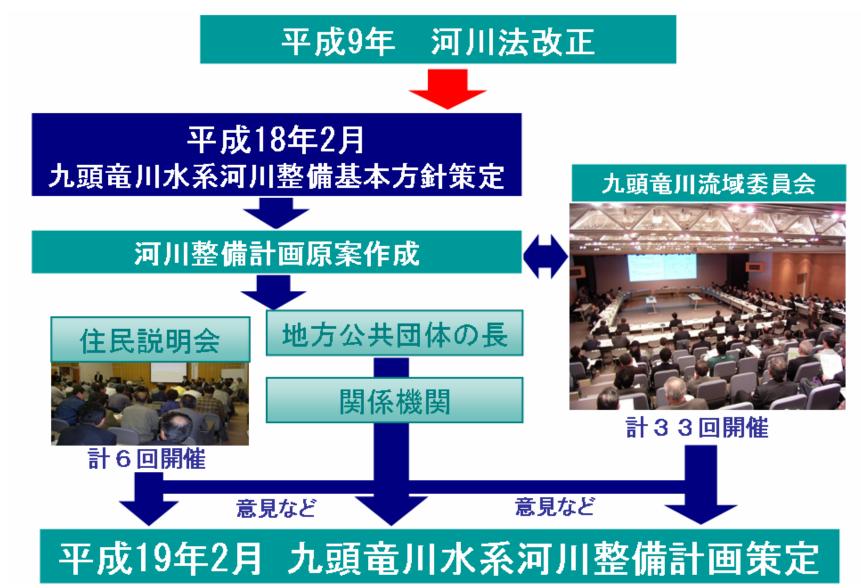
◇九頭竜川、日野川、足羽川の課題



■流域及び河川の概要

- (1)流域の地形・地質・土地利用等の状況
- (2)治水事業の沿革
- (3)現状と課題
- (4)現行の治水計画

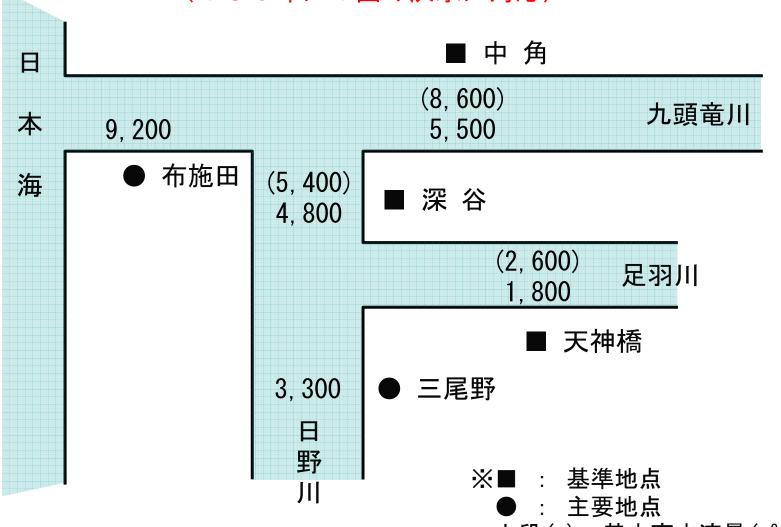
◇河川整備基本方針と河川整備計画



◇河川整備基本方針

九頭竜川水系河川整備基本方針の流量配分図

(150年に1回の洪水に対応)



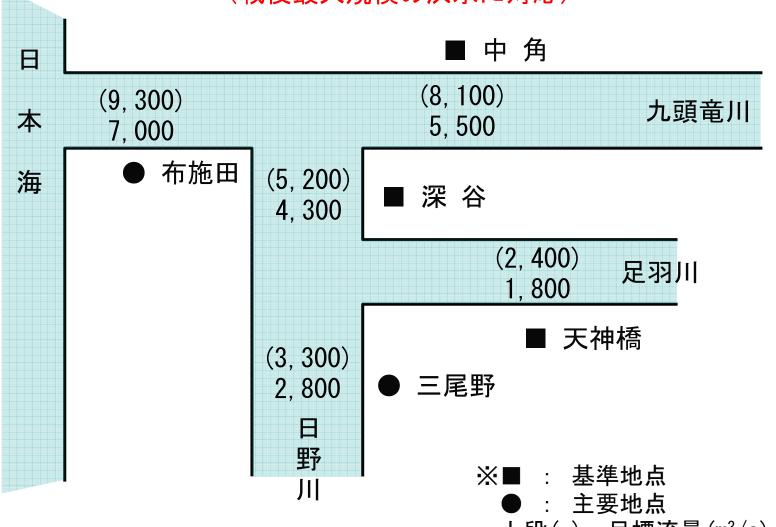
上段(): 基本高水流量(m³/s)

下段:計画高水流量(m³/s)

◇河川整備計画

九頭竜川水系河川整備計画の流量配分図

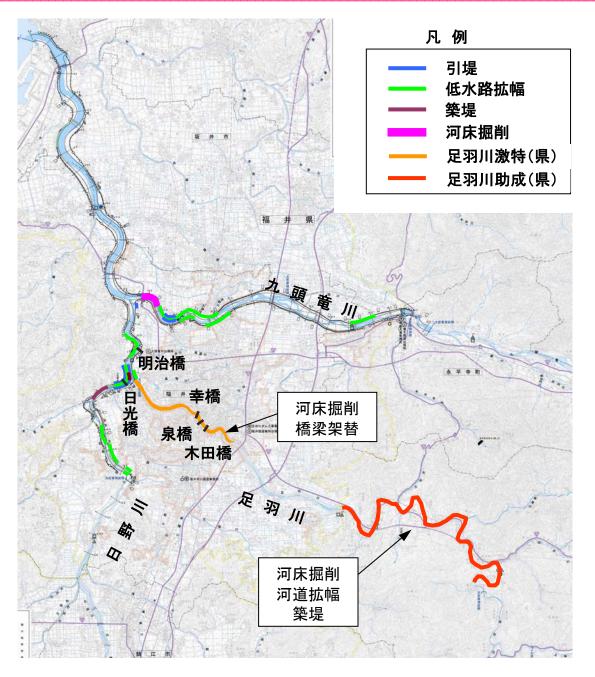
(戦後最大規模の洪水に対応)



上段():目標流量(m³/s)

下段: 河道整備流量(m³/s) 33

◇河川整備計画の整備メニュー (九頭竜川・日野川・足羽川)



既設ダムの有効活用

九頭竜川上流

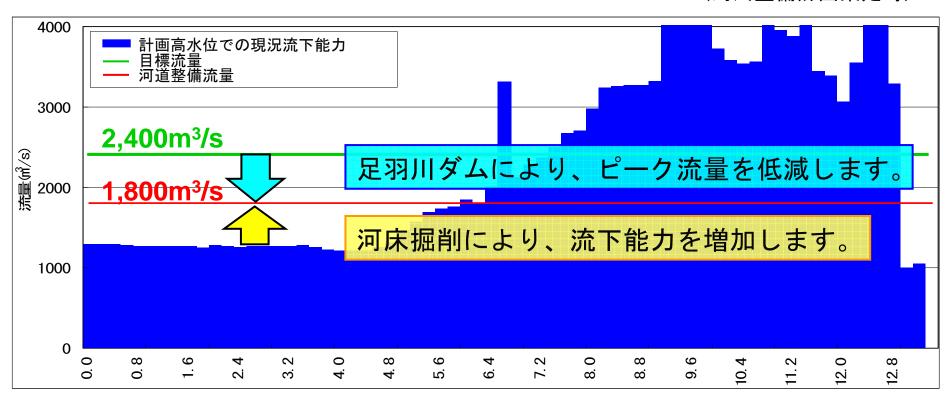


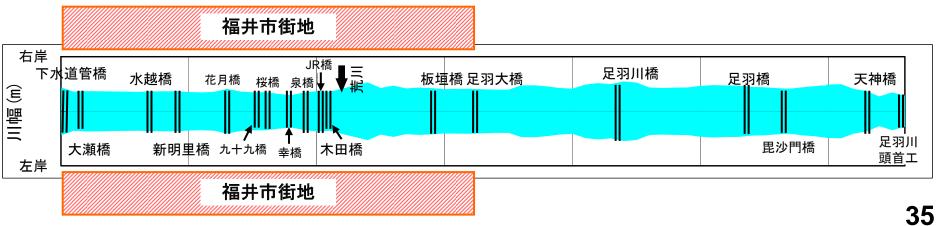
堤防の安全性の確保

九頭竜川、日野川

◇足羽川における治水対策

現況河道の流下能力図 (河川整備計画策定時)





◆ ピーク流量の低減

足羽川ダム建設事業



足羽川ダム建設予定地



足羽川ダムにより、下流河川のピーク流量を低減します。

◆ 流下能力の向上

河道整備

〇足羽川

地区名	距離標	実施内容	実施状況
大瀬町~板垣工区	0.0km~6.0km	河床掘削	完成
		堤防強化	//
脇三ヶ町~小宇坂	11.8km ~ 28.7km	河道拡幅	完成
島工区		河床掘削	//
		築堤工	//

- ・足羽川下流の流下能力を改善します。
- ・足羽川中流(山間部)の治水安全度を1/30に改善します。

整備済み

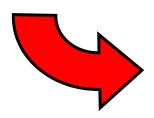
• 大瀬町~板垣工区 (3.6km付近) 実施状況

◇河床掘削・低水護岸 施工前 【 平成16年11月 】 足羽川 施工後 【 平成18年9月 】 足羽川

整備済み

・脇三ヶ町~小宇坂島工区 (大久保地区) (20.6km付近) 実施状況

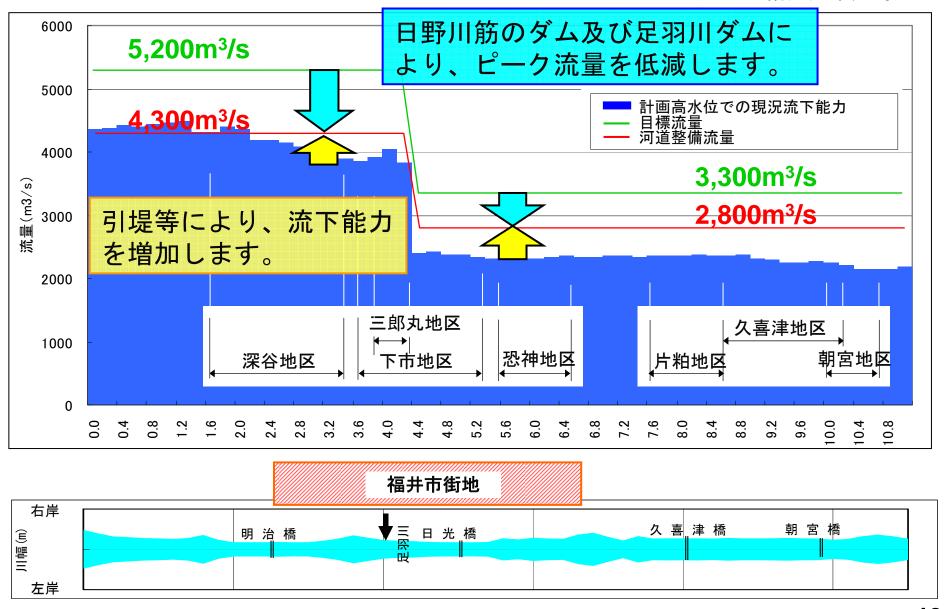






◇日野川における治水対策

現況河道の流下能力図 (河川整備計画策定時)



◆ ピーク流量の低減





足羽川ダム(建設予定地)



日野川筋のダム及び足羽川ダム により、下流河川のピーク流量 を低減します。

◆ 流下能力の向上

〇日野川

河道整備

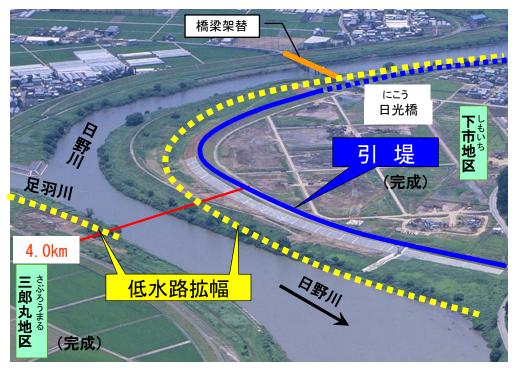
地区名	距離標	実施内容	実施状況
深谷地区	1.7km ~ 3.5km	低水路拡幅	完成
三郎丸地区	3.9km ~ 4.4km	低水路拡幅	完成
下市地区	3.7km ~ 5.4km	引堤 低水路拡幅 橋梁架替	完成 実施中 完成
恐神地区	5.6km ~ 6.6km	築堤	未着手
片粕地区	7.7km ~ 8.7km	低水路拡幅	未着手
久喜津地区	8.7km ~ 10.3km	低水路拡幅	未着手
朝宮地区	10.1km ~ 10.8km	低水路拡幅	未着手

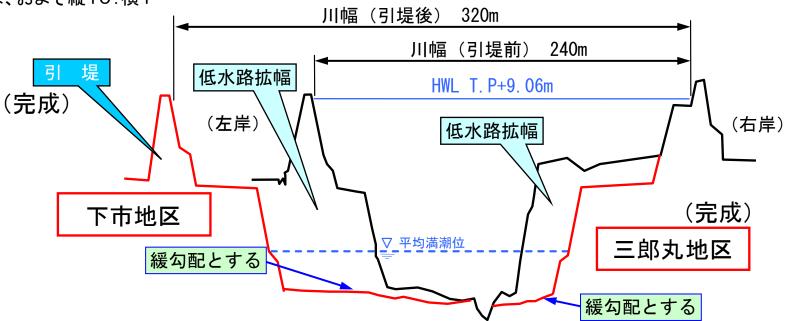
·下市地区

(4.0km付近)

【河川整備イメージ図】

※ 縦横比は、およそ縦10:横1





43

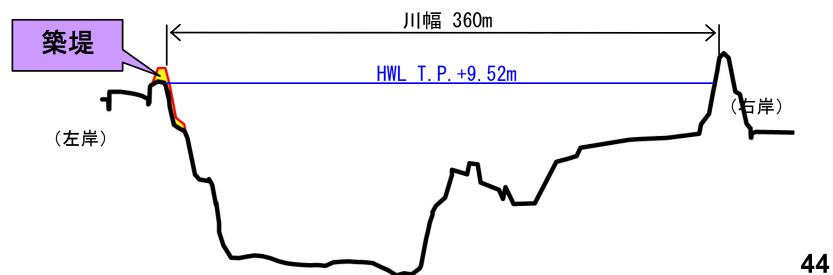
-恐神地区

(6.0km付近)



【 河川整備イメージ図 】

※ 縦横比は、およそ縦10:横1



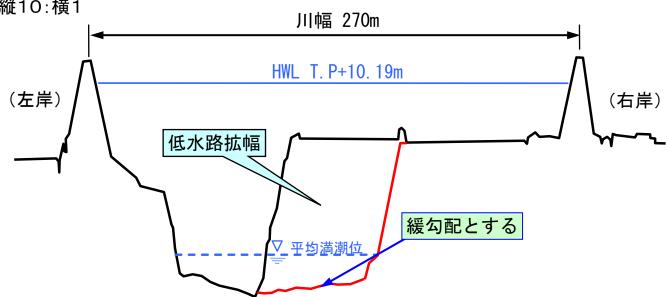
·久喜津地区

(9.0km付近)



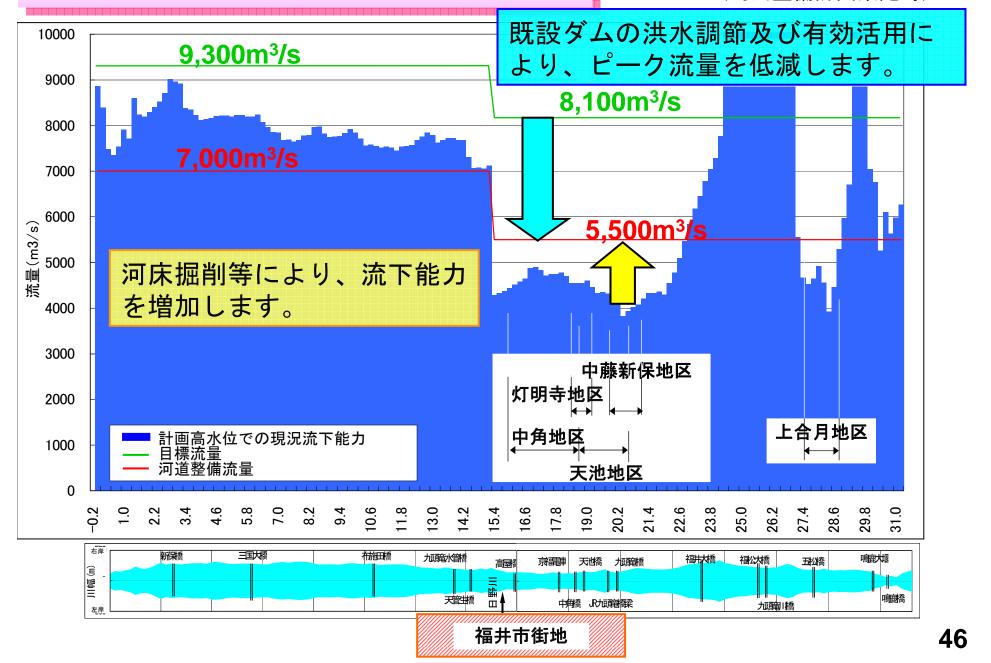
【 河川整備イメージ図 】

※ 縦横比は、およそ縦10:横1



◇九頭竜川における治水対策

現況河道の流下能力図 (河川整備計画策定時)



◆ ピーク流量の低減

既設ダムの洪水調節

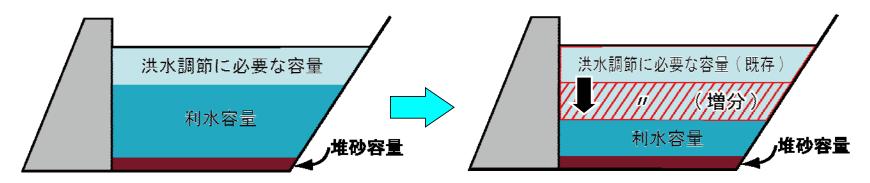






既設ダムの有効活用

利水・治水等の貯水容量の見直し、操作方法の見直しなどについては関係機関と調整



既設ダムの有効活用等により、下流河川のピーク流量を低減します。

◆ 流下能力の向上

河道整備

〇九頭竜川

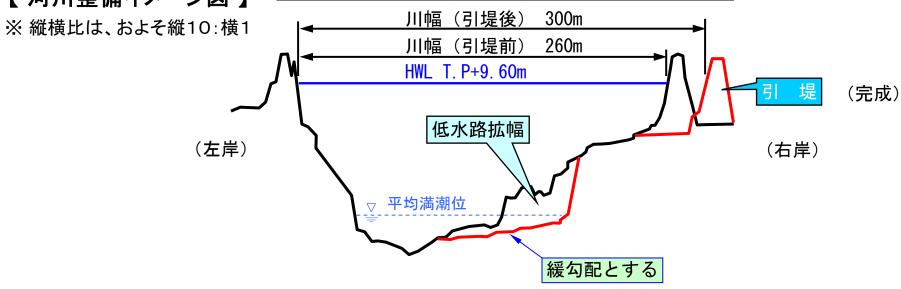
地区名	距離標	実施内容	実施状況
中角地区	15.6km ~ 18.3km	引堤 低水路拡幅 橋梁架替 河床掘削	完成 実施中 完成 実施中
灯明寺地区	18.0km ~ 18.8km	低水路拡幅	未着手
天池地区	18.3km ~ 20.2km	低水路拡幅	未着手
中藤新保地区	19.5km ~ 20.7km	低水路拡幅	未着手
上合月地区	27.0km ~ 28.3km	低水路拡幅	未着手

-中角地区

(17.6km付近)



【 河川整備イメージ図 】

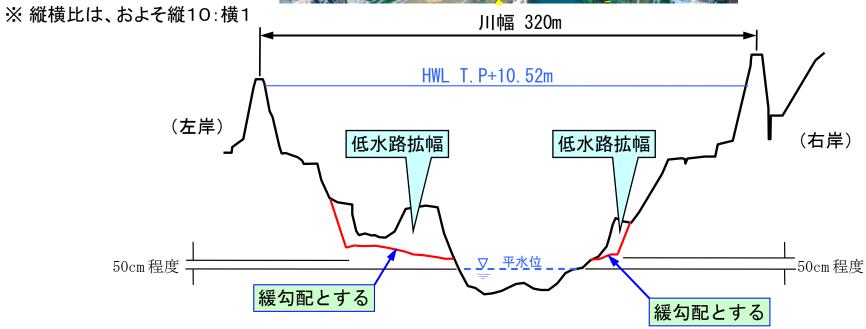


49

•中藤新保地区 (20.0km付近)



【河川整備イメージ図】



◇堤防の安全性の確保



盛土

■足羽川ダム建設事業の経緯及び概要

- (1)事業の経緯
- (2)事業の概要
- (3)事業の進捗状況

◇足羽川ダム建設事業の主な経緯

昭和43年 2月 : 九頭竜川水系工事実施基本計画改定(第1回)

「足羽川上流部に多目的ダムを建設して下流の洪水の軽減を図る」

昭和58年度 : 実施計画調査着手

平成 6年度 : 建設事業移行

平成 7年 9月 : ダム建設事業審議委員会を設置 平成 9年 9月 : ダム建設事業審議委員会から答申

▶足羽川ダムは治水・利水・環境の観点から必要

▶現ダム計画(美山サイト)は大きな犠牲を伴い地元同意を得ることは困難な状況から、水没戸数が極力少なくなるよう事業者

は最善の努力をすべき

平成11年11月 : 代替候補案の提示(部子川サイトのダム+4川導水)

平成14年 1月 :県、福井市は足羽川ダムの新規利水(上・工水)から撤退

平成14年 5月 : 九頭竜川流域委員会設置

平成18年 2月 : 九頭竜川水系河川整備基本方針策定

平成18年10月 : 足羽川ダム建設事業に係る基本協定締結

平成19年 2月 : 九頭竜川水系河川整備計画策定

平成19年 3月 :環境アセスメントの手続きに着手

" 3~10月:足羽川ダム建設事業に係る調査の実施に関する協定締結。

平成19年 7月 : 補償調査に着手

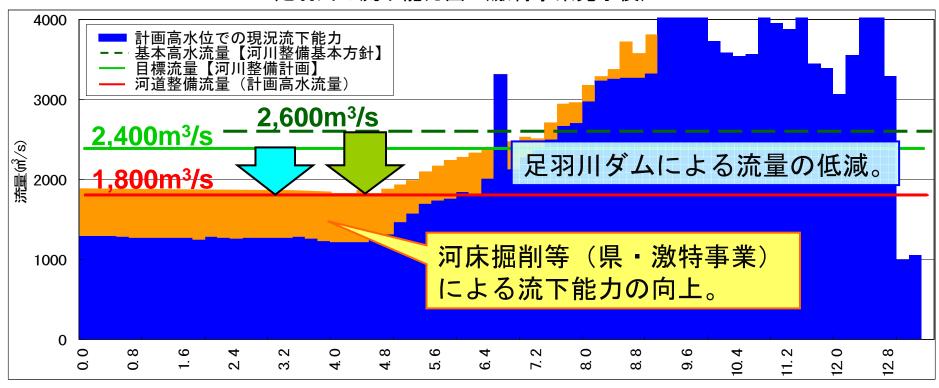
平成19年12月 : 環境影響評価方法書の公告・縦覧平成21年 3月 : 環境影響評価準備書の公告・縦覧

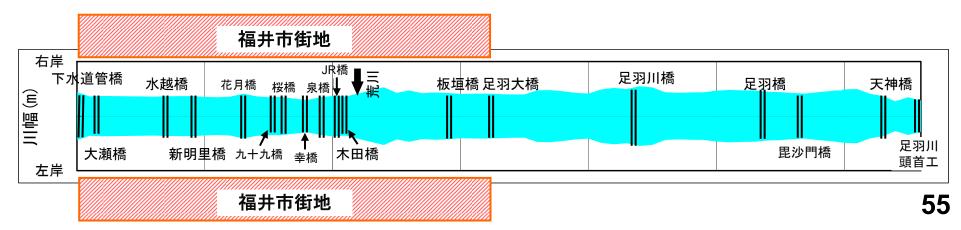
■足羽川ダム建設事業の経緯及び概要

- (1)事業の経緯
- (2)事業の概要
- (3)事業の進捗状況

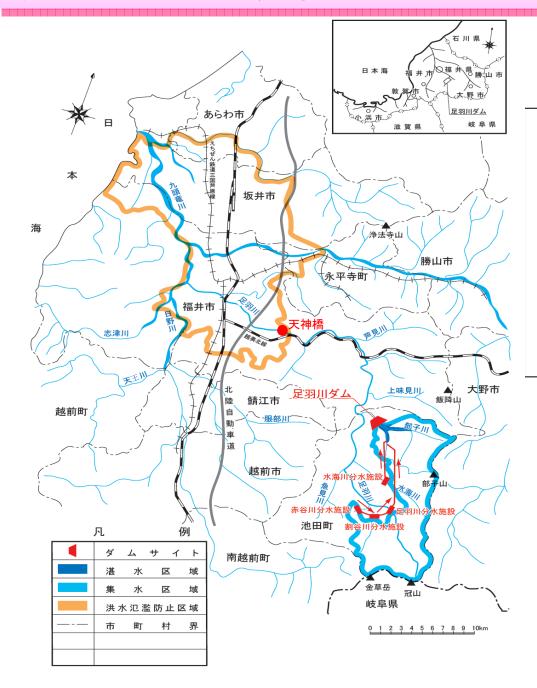
◇足羽川ダムによる洪水調節

足羽川の流下能力図(激特事業完了後)





◇足羽川ダム建設事業位置図



足羽川流域の概要

・水源 : 冠山峠

(標高1,257m)

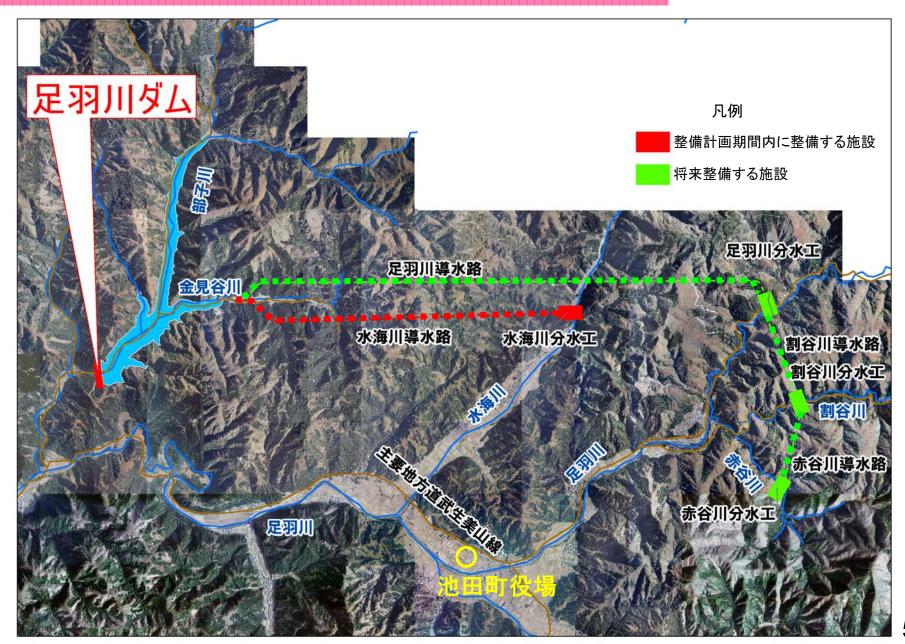
· 流域面積 : 416km²

· 幹川流路延長: 61.7km

• 国管理区間 : 8.6km

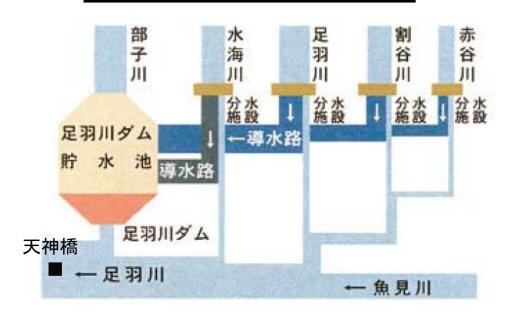
· 年平均降水量:約2,300~2,500mm

◇足羽川ダム建設事業計画平面図



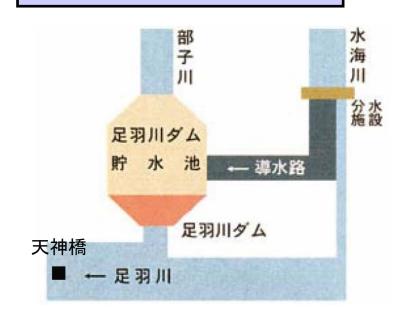
◇「河川整備基本方針」と「河川整備計画」

河川整備基本方針



部子川流域と4流域の洪水を調節

河川整備計画



部子川流域と水海川流域の洪水を調節

天神橋地点において 2,600m³/s⇒1,800m³/sへ調節 天神橋地点において 2,400m³/s⇒1,800m³/sへ調節

◇足羽川ダム建設事業の概要

〇場 所 : 福井県今立郡池田町小畑地先(九頭竜川水系足羽川支川部子川) 〇目 的 : 洪水調節 〇堤 体 ・形 式 : 重力式コンクリートダム • 堤 高 : 約 96m ・堤頂長 : 約460m •天端標高 : 約271m ○ダム洪水調節地 集水面積 : 約54.9 km² (直接流域:34.2 km²、間接流域:20.7 km²) (全体計画 約105.2 km²) 貯水面積 : 約94ha ・平常時最高貯水位: 一(常時は空虚) • 洪水時最高水位 : 標高 2 6 5 . 7 m • 貯留容量 : 約28,700,000m³ 〇導水トンネル (全体計画 4川導水) 区間距離 : 約 5 km (部子川~水海川) トンネル径:約10m(" 〇分水堰 (全体計画 4分水堰) 堰 高 : 約 14m(水海川分水堰) •堰 長 : 約122m(

◇洪水調節専用(流水型)ダムの特徴

足羽川ダムは、常時は水を貯めない「洪水調節専用(流水型)ダム」です。

〈治水〉

・ 洪水時には一時的に洪水を貯留し、下流沿川の洪水被害を軽減します。

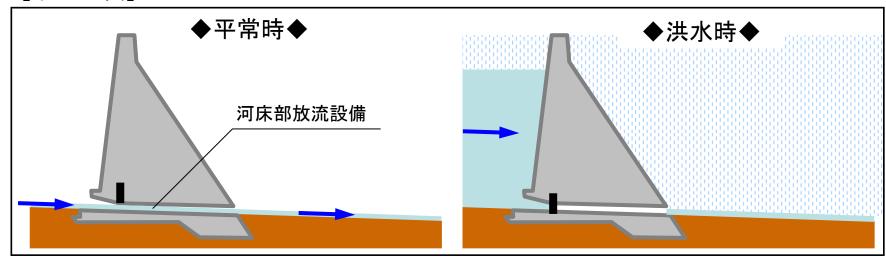
〈利水〉

利水機能をもたず、通常時ダムに水を貯めません。

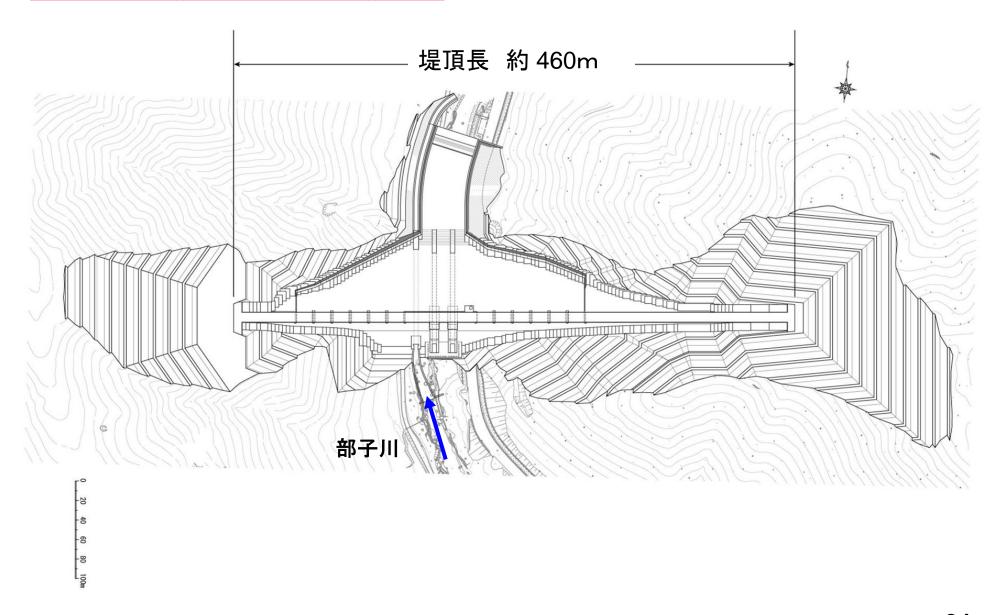
〈環境〉

- 通常時はダムに水を貯めないため、流入水とほぼ 同じ水質が維持されます。
- 上流から流れてきた土砂を全て捕捉するのではなく、 流水と同時に土砂が流れます。

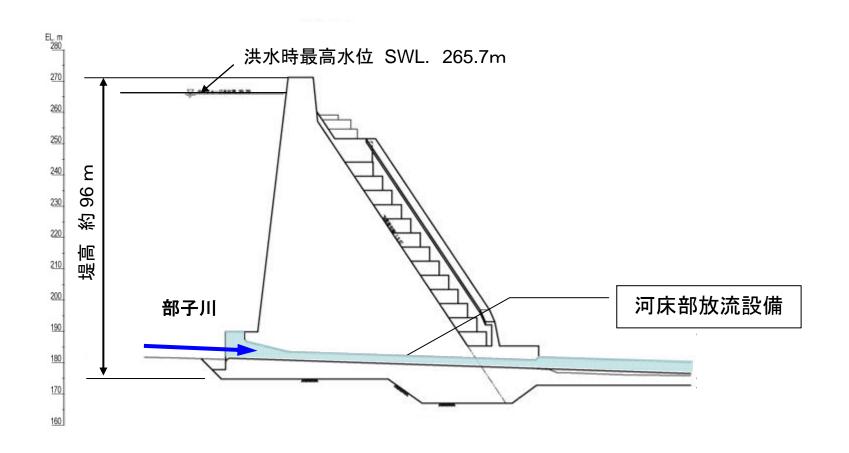
【イメージ図】



◇足羽川ダム平面図



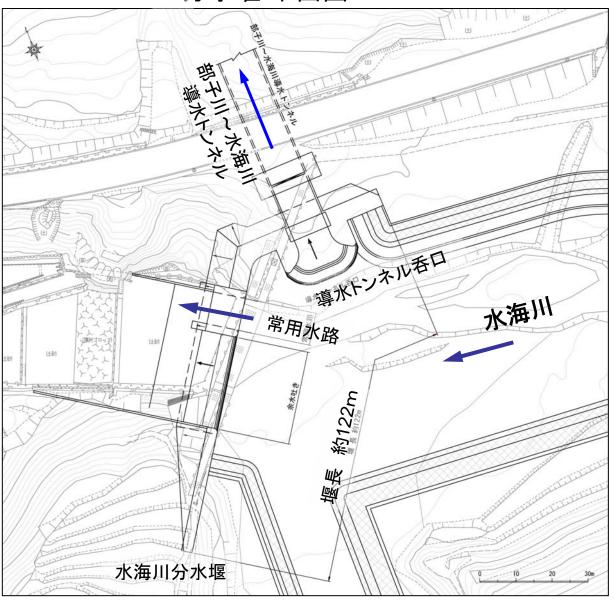
◇足羽川ダム断面図



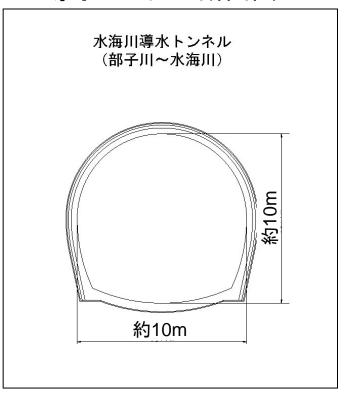


◇水海川分水施設(分水堰・導水トンネル)

分水堰 平面図



導水トンネル 断面図



■足羽川ダム建設事業の経緯及び概要

- (1)事業の経緯
- (2)事業の概要
- (3)事業の進捗状況

◇足羽川ダム事業の進捗状況

:未実施

(平成22年11月30日現在)

環境アセスメント	方法書 準備書 評価書		
補償調査(土地)	用地測量※ 地目調査 等級付け		
補償調査(建物)	物件調査	 補償金	
補償調査(立木)	物件調査	算定·契約	
公共補償	物件調査		
用地取得	0% (0ha)		
移転補償	0% (0世帯)		
付替道路	0% (0km)		
ダム本体及び ダム本体に係る 関連工事	転流工 基礎掘削 コンクリート 試験湛水		
導水施設	導水路 分水堰 (約5km) (1基)		

:実施中

:完了

※:境界未確定地を除く。 65